



日本ジオパーク認定地域

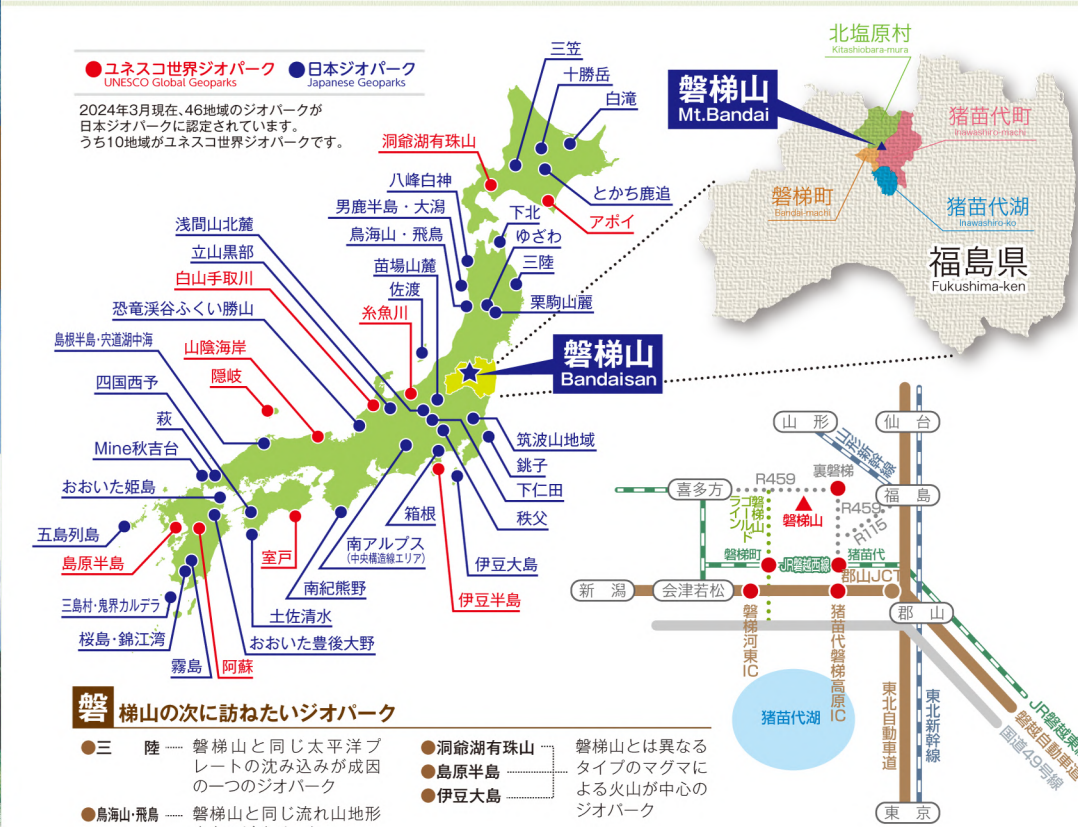


磐梯山ジオパーク

お宝ガイド

岩なだれ、流れ山、湖沼群 ずっと、ず〜っと 宝の山

地球の不思議に興味津々！
あなたの「見たい」「知りたい」「体験したい」気持ちを
日本ジオパークネットワークでお手伝い。



磐梯山の次に訪ねたいジオパーク

- 三陸 磐梯山と同じ太平洋プレートの沈み込みが成因の一つのジオパーク
- 島原半島 磐梯山と同じ流れ山地形をもつジオパーク
- 洞爺湖有珠山
- 島原半島
- 伊豆大島

磐梯山とは異なるタイプのマグマによる火山が中心のジオパーク

磐梯山憲章

- 一、磐梯山の自然、歴史、文化を学び、よく知ろう。
- 一、磐梯山の恵みに感謝し、活かし、人との共生を図ろう。
- 一、磐梯山の自然環境を守り、適正な利用に努めよう。
- 一、磐梯山に畏敬の念と誇りを持ち、後世に継承しよう。
- 一、磐梯山のために、一人一人が自ら考え行動しよう。

平成22年9月21日制定
猪苗代町・磐梯町・北塩原村

磐梯山ジオパーク関連の観光案内

- (一社)猪苗代観光協会 <http://www.bandaisan.or.jp/>
TEL.0242-62-2048 FAX.0242-62-2939
- 磐梯町観光協会 <http://www.town.bandai.fukushima.jp/>
TEL.0242-74-1214 FAX.0242-73-2115
- 裏磐梯観光協会 <http://www.urabandai-inf.com>
TEL.0241-32-2349 FAX.0241-32-3333

磐梯山ジオパーク協議会

北塩原村・磐梯町・猪苗代町・福島県・猪苗代町商工会・磐梯町商工会・北塩原村商工会・(一社)猪苗代観光協会
磐梯町観光協会・裏磐梯観光協会・福島県立博物館・野口英世記念館・磐梯山噴火記念館・いなわしろ伝保人会
猪苗代山岳会・磐梯やま楽校・裏磐梯エコツーリズム協会・国立磐梯青少年交流の家・環境省裏磐梯自然保護官事務所
(お問い合わせ) 磐梯山ジオパーク協議会事務局 福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰1093
TEL 0241-32-3180 (土日祝日を除く9:00~17:00)

磐梯山ジオパーク 磐梯山ジオパーク



2024.7

会津磐梯山は、宝の山よ〜

八つの謎？を解きお宝！を見つけよう。

② なぜ磐梯山の北側(裏磐梯地域)や南西側(磐梯町方面)には、デコボコした地形が一面に広がっている？

③ なぜ磐梯山周辺には、猪苗代湖、桧原湖、五色沼湖沼群などたくさんの湖や沼があるの？

⑤ 磐梯火山の峰のひとつ「櫛ヶ峰」の絶壁に見られる、色の違うすじ模様は何を意味するの？

⑧ 明治の噴火の前までであった「小磐梯」と呼ばれた山は、どこに消えたの？

⑨ なぜ磐梯山の周りには、美しい景色やたくさんの種類の動植物が見られるの？

④ 猪苗代湖唯一の島「翁島」は昔の磐梯山の一部だったってホント？

⑦ 平安時代の初め、会津に仏教を広めた高僧・徳一は、なぜこの地(磐梯町)に慧日寺を建立したの？

① 会津初代藩主の保科正之公は、なぜ自分の墓所を磐梯山麓(猪苗代町)に決めたの？

⑥ 磐梯火山の峰のひとつ「櫛ヶ峰」の絶壁に見られる、色の違うすじ模様は何を意味するの？

⑧ 明治の噴火の前までであった「小磐梯」と呼ばれた山は、どこに消えたの？

⑨ なぜ磐梯山の周りには、美しい景色やたくさんの種類の動植物が見られるの？

磐梯山ジオパークの魅力

地球上の約1割の火山のある日本にあって、磐梯山は、山体崩壊・岩なだれを発生させる活動が繰り返し起こり、ふもとに多くの湖沼を誕生させたことが特徴的です。特に1888(明治21)年の噴火は、世界で初めて山体崩壊と岩なだれに関する科学的な調査と記録がなされた点で高い価値を持ちます。

またこの地には、約5万年前にもこれとは別の巨大な山体崩壊と岩なだれがありました。この地に生きる人々は、大昔から火山災害の恐ろしさと火山がもたらす恵みの両方を受けとめ、生活を営み、歴史を展開してきたのです。

ジオパークとは

地球上には多くの火山があります。しかし、それらは特定の地域に偏って存在し、地震が活発に起こる地域とともかなり重なります。日本列島は、ほぼ全域がそれらの真ただ中にあり、世界に名だたる火山・地震大国で、しかも1億以上の人口をもつという特異な地域です。

ジオパークとは、地質や地形が中心のな見どころの大地の公園のことです。今後とも火山や地震の災害がやってくる日本にあって、ジオパークを訪ねることは、地球の生きた姿を理解し、そこで生活する上での知恵を学ぶ意味で意義深いことです。

さらにそうした災害だけでなく、美しい景観、きれいな水と空気、温泉、おいしい食材、大地の変動等に関する知的情報など大地がもたらす恩恵について、直接見聞きし、肌で感じ、味わうことがジオパークの大きな楽しみです。私たち大地に生きる人間にとって、ジオパークとは、「真のふるさと」を知る舞台と言えるでしょう。

歴史文化産業

動物・植物

地質・地形

人

自然

大地

ジオパークでつながる大地と自然と人の物語

磐梯山ジオパークは、2011年9月5日に日本ジオパーク認定地域になりました。

現在は、「保護・保全」「調査研究・教育」「観光・地域振興」の取り組みをさらに発展させユネスコ世界ジオパークを目指しています。

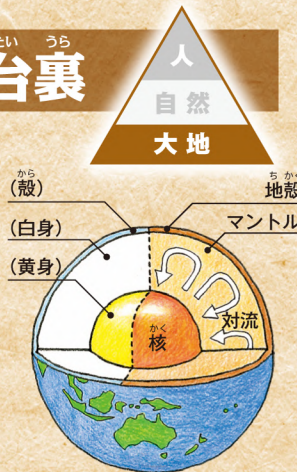
このページを開いて、八つの謎のお宝(答え)を探し出そう。

1 磐梯火山がつくられた舞台裏

1. 地球内部はゆで卵構造

地球は、内部を構成する物質の違いから、地殻・マントル・核の3つの層に分かれています。これはゆで卵に例えることができます。

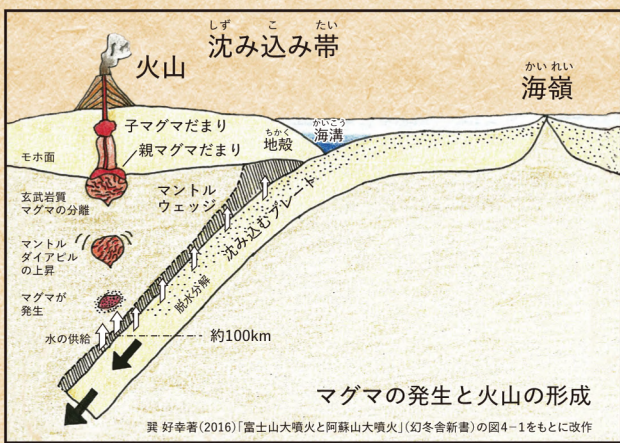
このうち、卵の白身にあたるマントルは、固体ですが流動性があり、温度差による熱対流でゆっくり動いています。卵の殻に当たる地殻とマントルの最上部は、一体になって硬い板のような性質を持ち、プレートと呼ばれています。地球表面はそれぞれが運動する十数枚のプレートで構成されています。



2. プレートの動きと火山・地震

日本列島付近は、地球でもまれな4つのプレートがせめぎ合っている地域です。このうち地球最大の太平洋プレートが日本海溝で沈み込み、大陸プレートとこすれ合って地震の原因をつくります。

太平洋プレートの沈み込みにより、岩石とともに水が地下深く持ち込まれます。深さ100kmを越えると高圧のため鉱物から水が絞り出され、その水が岩石の溶ける温度を下げるためマグマが発生します。マグマが浮力で上昇し、地表に出ると火山活動となります。



3. 磐梯火山が誕生した位置

海溝で沈み込むプレートが一定の深さに達してからマグマができるため、海溝から一定距離(東北地方では水平距離で西に約300km)のところに列をつくって火山は分布します。これを火山フロント(前線)といい、奥羽山脈の火山がこれにあたります。磐梯山もその火山フロントにある火山の一つです。



2 二度の山体崩壊をおこした火山

1. 成層火山としての磐梯山

磐梯山は環太平洋地域に多い安山岩質マグマによる火山です。このタイプのマグマはほどほどの粘り気を持つため、溶岩も流し爆発的な噴火で火山灰等も放出するなどの火山活動をし、成長とともに美しい成層火山となります。

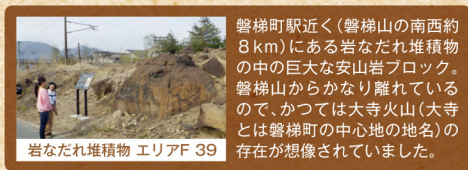
2. 山体崩壊による成層火山の移り変わり

成層火山は、重力的に不安定で噴火や地震等をきっかけに山体崩壊・岩なだれを起こすことがあります。磐梯山は、約5万年前と西暦1888年の少なくとも二度、大規模な山体崩壊・岩なだれを起こし、流れ山地形をつくり周囲に大きな影響を与えました。これにより生まれた地形は、磐梯山ジオパークの大きな見どころです。

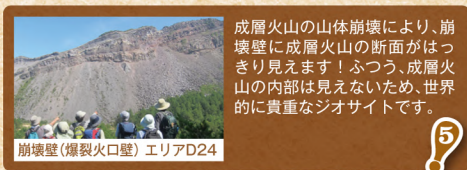
3. 二度の山体崩壊と湖沼群



約5万年前の山体崩壊は、表磐梯側で起き、南西に岩がなだれ落ち、川をせき止めて猪苗代湖ができたと考えられています。猪苗代湖唯一の島である鴛島(エリア159)は、その時生じた流れ山のひとつです。その後、崩壊してきたカルデラの中にさらに新しい火山が誕生、成長して今の大磐梯(磐梯山)となり、会津富士とも呼ばれる優美な姿を見せています。



1888年の山体崩壊は、裏磐梯側で起き、水蒸気爆発により小磐梯を崩壊、消滅させ、岩なだれが477名もの命を奪い、流れ山地形とともに川をせき止めて松原湖など多くの湖沼群をつくりました。大地は悲惨な状況となりましたが、熱い溶岩流におわれたわけではなかったため植生の回復は意外に早く、植林事業の努力もあって今は風光明媚な観光地となっています。



3 驚くほど多様な環境と生き物たち

1. 噴火で生まれた環境とそこで暮らす生き物たち

磐梯山の北側には、明治の噴火によって流れ山地形や多くの湖沼が誕生しました。そこでは、地形や水位などの違いによって、湖沼や川などの「水辺」、湿原やヨシ原などの「湿地」、ヤナギやハンノキなどが茂る「湿った林」、さらに流れ山にアカマツなどが根を下ろした「若い林」など、変化に富んだ植物の生育環境があります。噴火から百数十年という時間の流れの中で、植物群落の遷移(環境変化に応じ優占する植物のメンバーが変わっていくこと)も見ることができます。また、噴火の影響をまめがれたブナを中心とした「安定した森」、磐梯山の南麓など古くから人間の活動でつくられた「農耕地」という環境もあります。

こうした多様な環境には、それぞれに適した多様な植物が根付き、それらの植物を好む多種の野鳥・昆虫・魚類・両生類・虫類・ほ乳類などが暮らし、きわめて多くの種類の植物や動物が生育、生息する生態系が形成されています。磐梯山がもたらした大きなお宝のひとつです。



2. 独特の美しい景観

火山と湖沼群と生態系が織りなす変化に富んだ美しい景観も、磐梯山ジオパークの大きなお宝です。



国立公園の役割

国立公園は、日本を代表する自然景観を国が指定し管理する公園です。この優れた自然を後の世代に引き継ぐため、国立公園を開発の波から守り、自然とのふれあいの場として誰もが利用できるようにすることが国立公園の目的です。磐梯山ジオパークを特徴づける地形・地質や動植物は、そのほとんどが磐梯朝日国立公園の中にあり、それらがつくりだす多様な自然環境や美しい景観がいつまでも守られているのです。



4 火山とともに生きる人々

1. 遺跡から見える最初の人々

磐梯山周辺には、後期旧石器時代前半期(約3~2.5万年前)の笹原遺跡群や、縄文時代中期(約5000年前)の法正尻遺跡(エリア158)があります。笹原遺跡は会津最古の遺跡で、法正尻遺跡は青森県の三内丸山遺跡クラスの巨大住居跡で多くの出土品があります。これらの遺跡は、ともに5万年前の磐梯山の岩なだれ堆積物の分布の中にあり、岩なだれで誕生した猪苗代湖もすぐ近です。流れ山地形と猪苗代湖が、狩猟採集生活の格好の場を提供していたことがうかがえます。磐梯山の火山活動が会津人を誕生させたとも言えそうです。

2. 霊峰磐梯山と人々の信仰

磐梯山は、古来より神々が宿る神聖な山として人々に崇められ、西暦270年頃には磐梯明神が山頂にまつられるなど、山岳信仰の対象とされてきました。また美しく天にそびえる姿は「天にかかる岩(磐)の梯子(はしご)」に見立てられ、古名では「磐梯山(いわはしやま)」と呼ばれ、磐梯神社も建立されました。

また、神道の奥義を極めた会津初代藩主の保科正之公は、会津の繁栄と永続を願って、会津を象徴する磐梯山の麓を安住の地とし自らの墓と神社を建立するよう遺言したことで創建されたのが土津神社(エリアH51)です。

会津は、奈良・京都・鎌倉・平泉と共に仏教文化が花開いた日本の仏都に数えられています。その礎を築いた人物が今から1200年前に慧日寺を開いた徳一です。奈良で法相宗を学び最澄と仏教論争を繰り広げた高僧で、理想の仏法を求めて奈良を離れて東国へと至り、霊峰磐梯山を仰ぎ会津盆地を眼下に望む磐梯町に後に東日本きっての大寺院となる慧日寺を開いたのです。

3. 近世~現代の磐梯山周辺と人々

会津では「戊辰戦争」が有名ですが、さらにさかのぼる戦国時代の「摺上原の戦い」(エリアG46)も、ともに磐梯山周辺が戦場となった事変でした。この他の磐梯山周辺の大事変が、明治の磐梯山の大噴火だったのです。そして昭和25年の磐梯朝日国立公園の指定がこの地域の歴史の大きな転換点となり、人々の生活も大きく変わり、現代へとつながっています。今後、磐梯山ジオパークをさらに進展させることが、この地をより明るく未来へと導いてくれることでしょう。

会津磐梯山は、宝の山よ

さあ、あなたも「小原庄助さん」です。磐梯山ジオパークの火山の恵み、大地の恵みを思う存分楽しんでください!



色んな火山のタイプ	マグマのタイプ		
	流紋岩・石英安山岩質マグマ	安山岩質マグマ	玄武岩質マグマ
	溶岩の流れやすさ	流れにくい	流れやすい
	噴火のようす	爆発的(火山灰・火砕流)	おだやか
	火山の形	ドーム状	成層火山
火山の例	有珠山、雲仙普賢岳	磐梯山、岩手山	三原山、キラウエア(ハワイ)
	プレート沈み込み帯にできる火山で最も多いのは成層火山です。長い年月をかけて同じ火口から噴火を繰り返して溶岩や火山砕屑物(火山灰や軽石など)が積み重なって円錐形の火山体ができ上がります。富士山はその代表例ですが、磐梯山や岩手山も成層火山です。		

流れ山地形

山体崩壊 火山の爆発や地震によって起きる大規模な山崩れのこと。

岩なだれ 山体崩壊により大量の岩石や土砂が流れ下る現象のこと。

流れ山地形 岩なだれで流下してきた岩石や土砂が堆積してできた多数の小丘が分布する地形のこと。



1 明治の噴火をたどる物語 (I・II)

I 1888(明治21)年の噴火の中心だった崩壊カルデラ内に入り、噴火の大きさを実感するとともに、成層火山の内部のつくりを示す貴重な崩壊壁を眺めます。次に岩なだれ堆積物の中心である湖沼群エリア、さらには火山泥流による長坂の悲劇の地をまわり、最後に被害の末端部に残った巨大モニュメント「見称の大石」で締めくくる本格派のお薦めコースです。

II 明治の噴火による岩なだれ・流れ山がつくった五色沼湖沼群と桧原湖をめぐる、噴火当時をしのぶとともに、その後の復興で磐梯山ジオパークとしての景勝地となったサイトを楽しむジオツアーの初心者コースです。



明治の噴火の現場の中心地です。180度以上ぐると取り囲む崩壊壁には成層火山の内部が見えます。小磐梯は銅沼の少し南側に位置し、その山頂は沼より約650mの高さにあります。

I

裏磐梯スキー場終点
エリアD ジオサイト22

殉難之精霊碑(長坂)
エリアE ジオサイト32

見称の大石
エリアH ジオサイト53

II

青沼(五色沼湖沼群)
エリアB ジオサイト12

中瀬沼
エリアB ジオサイト10

大山祇神社
エリアA ジオサイト2

モデルコースI

磐梯山噴火記念館 → 裏磐梯スキー場 → 銅沼 → 五色沼湖沼群 → 中瀬沼 → 殉難之精霊碑 → 見称の大石

モデルコースII

磐梯山噴火記念館 → 裏磐梯ビジターセンター → 中瀬沼 → 銅沼 → 五色沼湖沼群 → 中瀬沼 → 殉難之精霊碑 → 見称の大石

2 霊峰磐梯山の麓に根づいた信仰の物語

磐梯山の麓には、平安初期に開かれた東日本屈指の大神院慧日寺、会津藩祖の眠る土津神社、日本三大天満宮に数えられる小平満天満宮があります。いずれも創設にあたり磐梯山麓や猪苗代湖群という立地にこだわった信仰の拠点であり、これらの地を訪ね、当時の人の思いや人と信仰のつながりに思いをはせます。

慧日寺跡
エリアF ジオサイト38

土津神社
エリアH ジオサイト51

小平満天満宮
エリアI ジオサイト69

モデルコース

道場の駅ばんだい → 慧日寺跡 → 龍ヶ沢 → 野口英世記念館 → 会津民俗館 → 磐梯山 → 土津神社 → 猪苗代湖群



磐梯山ジオパーク 81のジオサイト一覧

A-1 小谷山城跡	C-21 雄国沼	F-41 磐梯山慧日寺資料館	I-81 天鏡閣
A-2 大山祇神社	D-22 裏磐梯スキー場終点	G-42 パン皮状火山弾	I-82 迎賓館
A-3 穴沢一族五輪の塔	D-23 銅沼	G-43 天鏡台滑岩類	I-83 十六橋
A-4 クリーンタワ霧頭	D-24 爆裂火口壁	G-44 天鏡台(昭和の森)	I-84 赤井谷地
A-5 桧原歴史館	D-25 噴火口の原生林	G-45 猪苗代リゾートスキー場	I-85 野口英世記念館
B-6 桧原湖	D-26 磐梯山	G-46 猪苗代湖群	I-86 会津民俗館
B-7 小野川湖	D-27 櫛ヶ峰	G-47 三忠碑	I-87 白鳥飛来地
B-8 秋元湖	D-28 赤壇山	G-48 旧二本松街道	I-88 天神浜
B-9 曾原湖	D-29 沼ノ平	H-49 磐梯神社	J-89 小平満天満宮と猪苗代湖群
B-10 中瀬沼	D-30 中の湯	H-50 大鹿桜	J-90 川桁断崖下の扇状地
B-11 流れ山露頭	D-31 小屋川の滝(幻の滝)	H-51 土津神社	J-91 観音寺
B-12 青沼(五色沼湖沼群)	E-32 殉難之精霊碑	H-52 亀ヶ城	J-92 川桁断崖
B-13 り沼(五色沼湖沼群)	E-33 長坂遺跡	H-53 見称の大石	J-93 開臨優婆塞堂(おんぼ様)
B-14 弁天沼(五色沼湖沼群)	E-34 秋元発電所	H-54 磐梯山火災者招魂碑	K-74 神楽堂
B-15 みどり沼(五色沼湖沼群)	E-35 猫石	H-55 磐梯山噴火死没之墓(西門寺)	K-75 天狗石
B-16 鹿沙門沼(五色沼湖沼群)	F-36 龍ヶ沢湧水	I-56 招魂之碑(西門寺)	K-76 柏木城跡
B-17 磐梯山噴火記念館	F-37 磐梯神社	I-57 法正原遺跡	K-77 温泉神社
B-18 裏磐梯ビジターセンター	F-38 慧日寺跡	I-58 法正原遺跡	K-78 大塩虚空蔵堂
C-19 猫魔ヶ岳	F-39 猫魔ヶ岳	I-59 翁島	K-79 山塩製塩工場
C-20 猫石	F-40 修験道	I-60 湖畔の森	K-80 五枚沢川原の露頭

3 猫魔カルデラが育む雄国沼と湿原の物語

磐梯山の兄貴分の猫魔火山(100万年〜40万年前の活動による)を訪ね、沼と湿原になっているカルデラ内で湿原植物群落(国天然記念物)とその景観を楽しみ、さらに新しい火山らしい磐梯山の山容を、猫魔ヶ岳山頂の特等席の展望台から望みます。

猫魔ヶ岳
エリアC ジオサイト19

雄国沼
エリアC ジオサイト21

モデルコース

雄子沢登山口 → 雄国沼休養舎 → 雄国沼 → 猫魔ヶ岳 → 猫魔ヶ岳山頂

4 知られざる5万年前の噴火をたどる物語

磐梯山の南西麓は、約5万年前の磐梯山の巨大噴火により、山体崩壊をして岩なだれが堆積した地域です。地形や岩石からその範囲と現象をとらえ、緑濃い大地と人間の関わりをさぐります。

猪苗代リゾートスキー場
エリアG ジオサイト45

鈴島(鈴島)岩なだれ堆積物
エリアD ジオサイト39

天鏡閣
エリアI ジオサイト61

モデルコース

猪苗代リゾートスキー場 → 鈴島 → 天鏡閣 → 迎賓館 → 十六橋 → 道場の駅ばんだい

2 霊峰磐梯山の麓に根づいた信仰の物語

磐梯山の麓には、平安初期に開かれた東日本屈指の大神院慧日寺、会津藩祖の眠る土津神社、日本三大天満宮に数えられる小平満天満宮があります。いずれも創設にあたり磐梯山麓や猪苗代湖群という立地にこだわった信仰の拠点であり、これらの地を訪ね、当時の人の思いや人と信仰のつながりに思いをはせます。

慧日寺跡
エリアF ジオサイト38

土津神社
エリアH ジオサイト51

小平満天満宮
エリアI ジオサイト69

モデルコース

道場の駅ばんだい → 慧日寺跡 → 龍ヶ沢 → 野口英世記念館 → 会津民俗館 → 磐梯山 → 土津神社 → 猪苗代湖群

5 大地創造をたどるパノラマ物語

磐梯火山と猫魔火山、そして日本第4位の大きさを誇る猪苗代湖、さらにその東西に立ちはだかる川桁山地と背灰山地といった、磐梯山を取り囲む雄大な風景から大地創造のストーリーを大パノラマで理解しましょう。さらに、磐梯山を登山することで一層の大パノラマを探れます。

天鏡台
エリアG ジオサイト44

天神浜
エリアI ジオサイト68

モデルコース

天鏡台 → 天鏡台滑岩類 → 川桁断崖展望 → 天神浜 → 猪苗代湖群